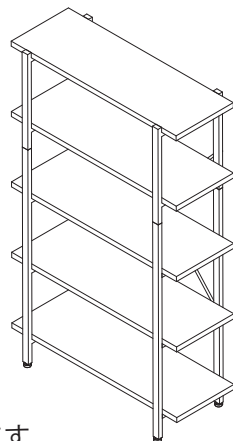


Otis

5段ラック 幅90

品番: OTOR-90-D5



【完成図】

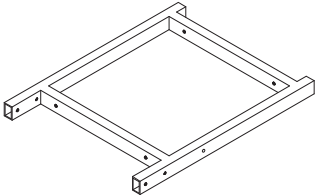
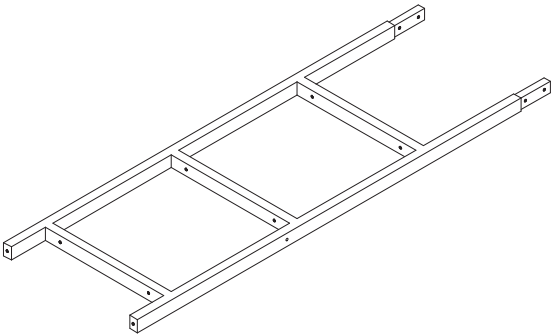
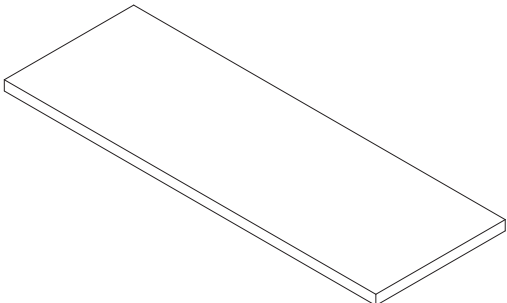
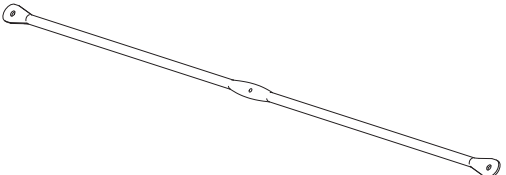
この度は、本製品をお買い上げ頂き誠に有り難うございます。
ご使用前に、必ずこの説明書を最後までお読み頂き、正しい使い方で末永く
ご使用下さい。

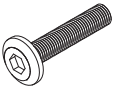
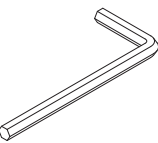
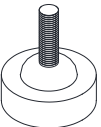
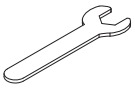
①注意事項

- 危険ですので、ラック以外の用途にご使用しないで下さい。
- 製品の上に、水気のものや熱を持ったものを直接置かないで下さい。
- 直射日光のあたる場所や、湿気の多い場所でのご使用は控えて下さい。
変形・変色の恐れがございます。
- 小さなお子様には特に注意して下さい。商品の周囲で遊んでいて、
商品にぶつかり転倒したりすると非常に危険です。
角打ち等にも十分ご注意下さい。
- 水平な場所でご使用頂きますように、お願いします。
- 商品に偏った体重のかけ方をされると横転の危険があります。特に
ご注意下さい。
- 組立ての際には床等が傷つかないように、布等を敷いた上で組立て
して下さい。
- ご使用中にゆるみが出た場合は、各部分のボルト・ネジを確実に
締め直して下さい。

商品サイズ	幅902×奥行370×高さ1485mm
	株式会社B.Bファニシング 大阪府堺市堺区南清水町3丁目2-13 TEL:072-242-8455

組立説明書 【2021.1】

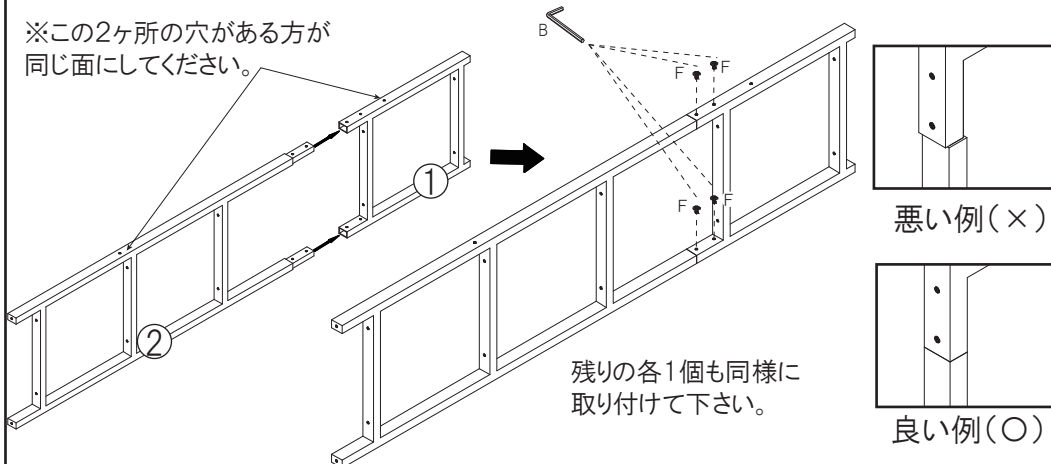
部材	※組立前に、以下の部材が揃っているか必ずご確認ください。	
①上フレーム:2個		
②下フレーム:2個		
③棚板:4枚		
④クロスバー:2本		

部品	※組立前に、以下の部品が揃っているか必ずご確認ください。			
Aボルト:22本(2本は予備)	B六角レンチ:1本	Cアジャスター:4個		
 M6x35mm				
Dボルト:5本	Eナット:1個	Fボルト:8本	Gスパナ:1本	
 M6x20mm		 M6x15mm		

1 組立する前に、組立時に床などが傷つかないように、毛布や段ボールなどの上で組立を行うように、
お願い致します。

②下フレームを下記の左のイラストのように、①上フレームに挿し込んでください。次に、下記の右
のイラストの様に、FボルトとB六角レンで、①上フレームと②下フレームを取り付けてください。

※この2ヶ所の穴がある方が
同じ面にしてください。

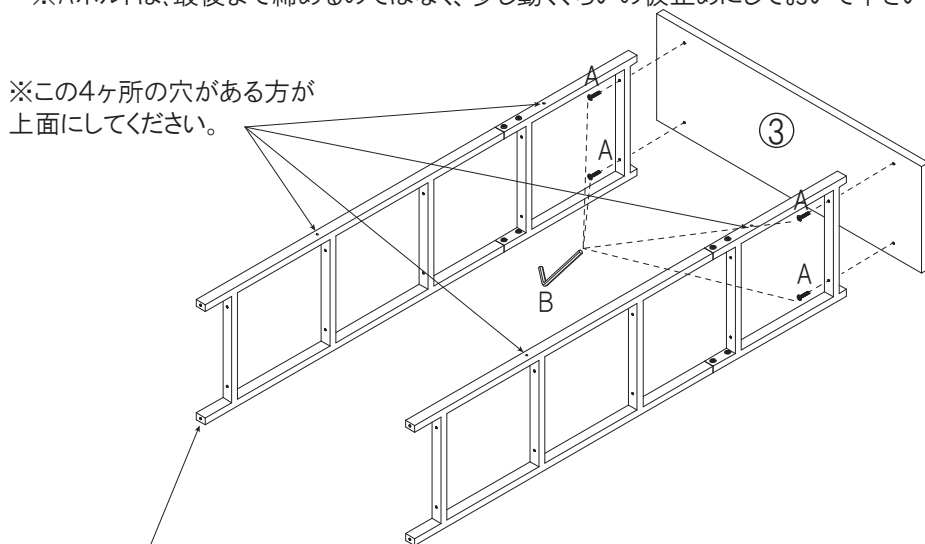


①上フレームと、②下フレームはスムーズに組立ができるように、挿し込み部分にあそびの隙間
がありますので、上下フレームを挿し込んでボルトを締める時は、上記の良い例(○)のように、
上下フレームがまっすぐになっている状態を確認してからボルトを締めて下さい。

2 下記イラストの様に、**1**で組立てたフレームと③棚板をAボルトとB六角レンチ
を使用して、取り付けて下さい。

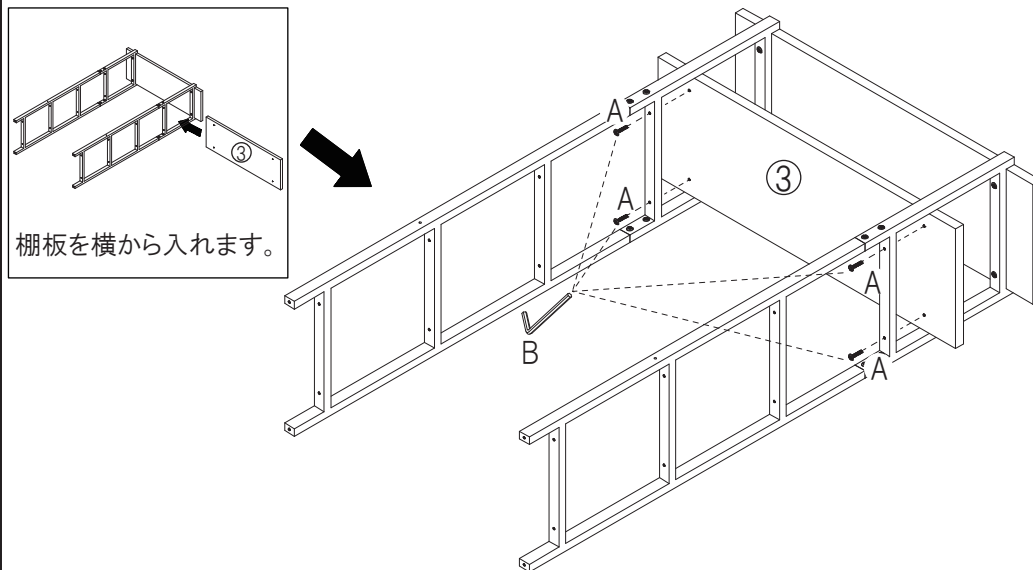
※Aボルトは、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。

※この4ヶ所の穴がある方が
上面にしてください。



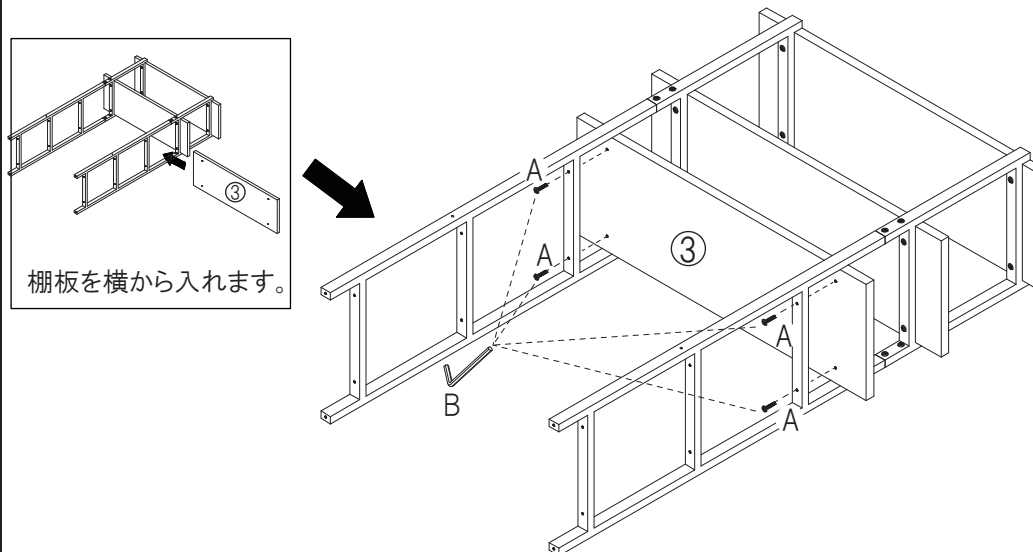
3 **2**で組立てた部材を、下記イラストの様に、③棚板を横から入れて、Aボルトと
B六角レンチを使用して、取り付けて下さい。

※Aボルトは、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。



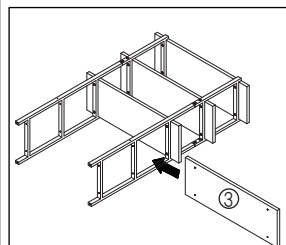
4 **3**で組立てた部材を、下記イラストの様に、③棚板を横から入れて、Aボルトと
B六角レンチを使用して、取り付けて下さい。

※Aボルトは、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。

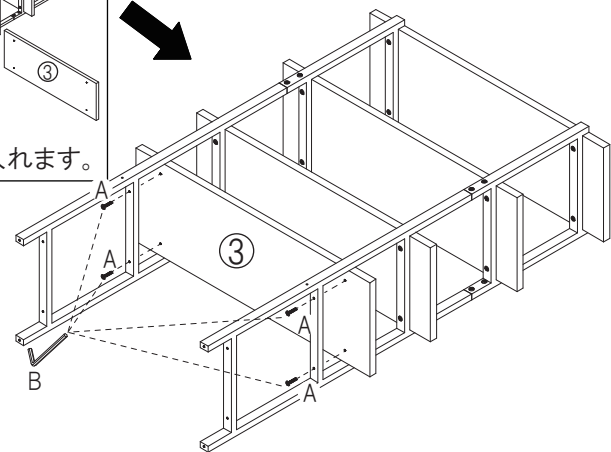


- 5** **4**で組立てた部材を、下記イラストの様に、③棚板を横から入れて、AボルトとB六角レンチを使用して、取り付けして下さい。

※Aボルトは、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。

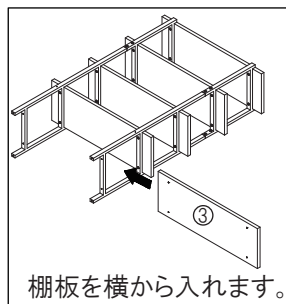


棚板を横から入れます。

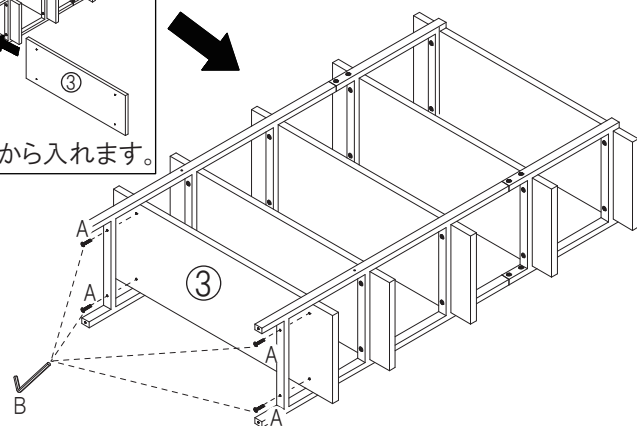


- 6** **5**で組立てた部材を、下記イラストの様に、③棚板を横から入れて、AボルトとB六角レンチを使用して、取り付けして下さい。

※Aボルトは、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。

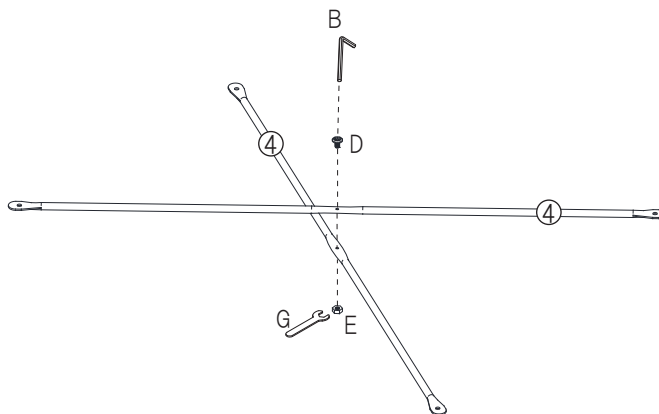


棚板を横から入れます。

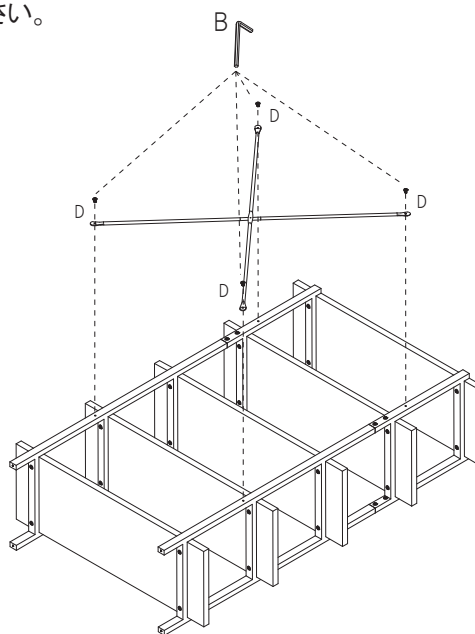


- 7** ④クロスバー2本を、下記のイラストの様に、DボルトとEナットをB六角レンチと、Gスパナを使って取り付けして下さい。

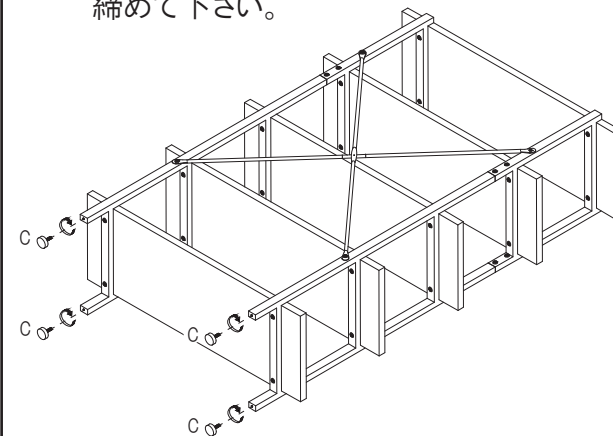
※Dボルトは、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。



- 8** **7**で組立てた部材を、下記イラストの様に、**6**で組立てた部材に、DボルトとB六角レンチで取り付けして下さい。



- 9** **8**で組立てた部材を、下記イラストの様に、Cアジャスターをフレームの脚に取り付けて下さい。その後、**2**、**3**、**4**、**5**、**6**、**7**で仮止めになっていた、各ボルトをB六角レンチとGスパナを使って最後まで締めて下さい。



- 10** **9**で組立てた商品を、ゆっくりと起こして下さい。

※この起こす時は、出来るだけ2人で起こして下さい。
これで、完成です。

※ご使用になる場所や、組立の仕方によって、少しガタツキが発生する場合がありますが、Cアジャスターを回して高さを微調整して頂くと、直ります。

